

共に考える

# 住宅デザイン

甲斐 徹郎

○94○

## 便利さと豊かさの違い

連休前に久しぶりに沖繩を訪れ、本島南部の斎場御嶽(セーファウタキ)に立ち寄りました。巨大石が形成する大空間、深い緑が作り出す清々しい空気、光と影、それらすべてがつながり合うことで、ここでの豊かな環境は成り立っており、ここでの心地よさはそれらの連続的な「つながり」によってもたらされていると感じました。

更には、東に久高島を通洋するその絶妙なつながりは、私たちに「身体」と「自然」ひいては「宇宙」に至るまでの大きな連続性を感じさせる力を持っています。

その後、宮古島へ移動し、再び心地よい空間に出会いました。それはコンクリートの建物を改造して作られた一軒の小さなカフェでした。木の窓枠の仕上がりは水平でも垂直でもなく、また、コンクリートの間仕切り壁を壊して部屋を広げたらしく、その壊された断面からは鉄筋が顔をのぞか

# 大切にしたい心地良さ



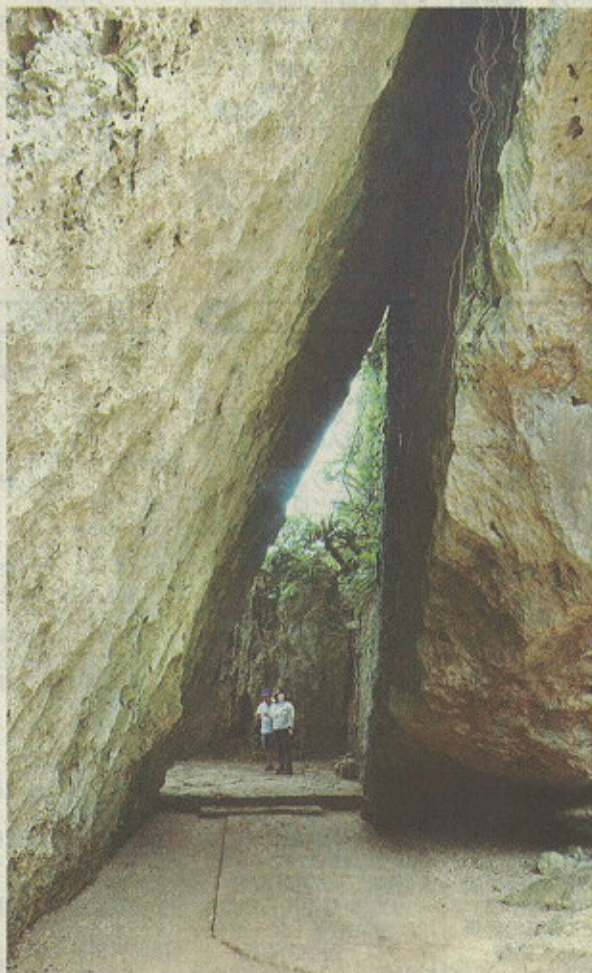
自然との「つながり」が何とも心地よい宮古島のカフェ

## 身体と自然が一体に

甲斐 徹郎  
 そうです。そんな大雑把なつくりですが、何とも居心地がいいのです。小さなカウスター越しには、木の窓枠を通して、風になびくキビ畑と青い空と、そこに分け入る道が見えま

す。その風景は、すべてが永遠につながっているように見え、そのつながりの中にこのカフェがあり、自分がいるように感じさせます。

連続した大きな風景の中の一部になったような感覚と、その大きな自然から運ばれる風が心地よいのです。この心は、小さなタイルひとつの中にこのカフェがあり、自分がいるように感じさせます。



「身体」と「自然」そして「宇宙」との「つながり」を感じさせる斎場御嶽一知念村

東京に戻って翌朝、テラ戻ったばかりの私には、自然との「つながり」が何とも心地よい宮古島のカフェ

「豊かさ」は遠い。しかし、「便利さ」と「豊かさ」は遠い。自分の身体感覚を総動員して「身体」と「自然」とのつながりの中で住まいを考え、その「豊かさ」をのぞかせる。重要なのだと思います。

（マーケティング・コンサルタント）